



E.D.I.

環境デザイン研究所  
ENVIRONMENT DESIGN INSTITUTE

基本データ

所在地／

千葉県四街道市下志津新田2531-9

発注者／学校法人下志津学園

主要用途／幼稚園

設計／建築・外構・遊具

敷地面積／5,547.20m<sup>2</sup>建築面積／1,484.25m<sup>2</sup>延床面積／1,417.78m<sup>2</sup>

構造・規模／

木造+鉄骨造 1階建て

基本計画／

2004年10月～2005年3月

基本設計／

2005年 4月～2005年9月

実施設計／

2005年10月～2006年4月

施工期間／

2006年 7月～2007年2月

受賞歴／

第12回千葉県屋外広告物コンクール

理事長賞(2007年9月)

第14回千葉県建築文化賞(2008年3月)

JIA環境建築賞入賞(2008年10月)

東京建築賞奨励賞(2009年5月)

全国学校ビオトープ・コンクール2009

銀賞(2009年12月)



メインエントランス



外観



ギャラリー廊下



たけのこホール

『EDI REPORT』では、竣工物件のプロジェクト概要と、設計・監理時の配慮点などについて 2008.7.10  
随時、設計担当者からご報告していきます。 2009.12.25更新

## 四街道さつき幼稚園 (環境設計部：中川由美子)

### ▶ 設計コンセプト

**人にやさしい環境づくり：** 外部は耐久性、耐候性に配慮した仕上材とし、内部は木材を多用し温かみのある室内としています。

**園児との関わりと安全管理を重視した先生の拠点：** 先生と園児達の関係を空間計画の中で最優先し、園児と身近に関わることが出来る位置に職員室を設けました。

**多様な体験ができる環境づくり：** 広場やめまい体験、近道などの変化に富んだスポットを連結する回遊動線(遊環構造)を動線計画の中心としています。



### ▶ 既存園舎を活用した建築計画

設計にあたり、園舎を全部取り壊して建て替えるのではなく、一部、既存園舎を耐震改修して利用することは出来ないかとの要望がありました。既存園舎のどの部分を耐震補強することがデザイン的にも機能的にもコスト的にもメリットがあるのか検討を重ね、既存保育室6教室を耐震改修し、遊戯室、事務室、預かり室等の諸室を新築する計画となりました。耐震フレームを利用した中廊下や庇を設けることで新園舎との連続性、回遊性をもたせることが出来ました。

### ▶ 敷地拡張によって実現した「ふれあいの森」

**「ふれあいの森」と一体的な「たけのこホール」：** 既存園舎の位置の制約と園庭を狭くしたくないというお施主様の思いにより敷地を拡張しました。拡張した敷地には遊戯室「たけのこホール」と自然・農体験ができる「ふれあいの森」を計画しました。敷地北側には立派な竹林が広がっています。これまで竹林は建物で分断されていましたが、園地に溶け込むようにふれあいの森を計画しました。また、たけのこホールのステージはふれあいの森と一体的に計画しており、ステージのガラス扉を全開放すると屋外ステージとしても利用できます。

ふれあいの森は植栽と一部設備をのぞいてすべて園児のお父さんたち「里山クラブ」による手作りです。田んぼや丸太のベンチ、丸太の小道など私達スタッフも制作に参加させて頂きました。



たけのこホール



屋外ステージ



たんぼ作り

### ▶ 外構、インテリア、サイン、遊具等

**植栽計画とサイン計画：** 園舎はたくさんの木々に囲まれているので、新しい部屋の室名を植物の名前にすることを提案しました。そして各室からその室名の植物を眺めることが出来るよう植栽計画を行いました。

**絵本広場：** さつき幼稚園には絵本がたくさんあります。絵本の表紙を見せて飾る棚を廊下に面して設けました。ロフトや読み聞かせのコーナーなども設けています。

**遊林園：** 竣工2年後、老朽化した鉄製園庭遊具を新しくしたいという話を伺いました。園のシンボルの竹林をモチーフに、芝生の小山と砂場を中心に、ネットやすべり台、ブリッジなどさまざまなあそびツールを取りつけた、たけのこ形の鉄製遊具12基を配しました。「遊林園」と名付けられ、人気の遊び場となっています。



デッキテラス



絵本広場



ふれあいの森



遊林園